

令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

令和5年度は、国内では好調な企業業績を背景とした株高や賃上げが実施され、インバウンド需要の順調な回復がある一方で、ゼロ金利政策の終了後も収まらない円安と物価高が続いた。海外ではロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・ハマス紛争、米中間の対立などリスクが高まっており、先行き不透明な状況にある。明るいニュースでは、大谷翔平選手が日本人初のメジャー本塁打王獲得、藤井聡太竜王の史上初八冠独占や阪神タイガースの38年ぶり日本一などが話題を集めた。自然環境の変化が猛威を振るった年でもあった。国連事務総長が「地球の沸騰化」という表現で警鐘を鳴らした地球温暖化の影響は、日本でも夏の猛暑や豪雨といった異常気象を頻発させた。そして元旦に発生した「令和6年能登半島地震」は記憶に新しい。

今年度の出来事で忘れてならないのは、新型コロナの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられたことである。「マスク着用」「3密回避」などこれまでの暮らしを一変させたコロナ禍は、昨年5月に区切りを迎えた。

1. 会員数減少の下げ止まり

コロナ禍の影響で、会員数は、5年連続の減少で約45,800名となった。ただし減少幅は約430名(1%)と大幅に縮小した。これは指導者各位の受講生との繋がりやの深さと、自彊術が免疫力や自己治癒力の強化に効果が期待できること、また会員の皆様にとって生活の一部として位置づけられていることが大きな理由であると考えられる。困難な状況下にもかかわらず、指導者層の世代交代や支部組織体制の強化に取り組まれている各支部長並びにそれを支える指導者各位のご努力に、心より敬意を表する。

2. 各種会議・研修会等の正常化

理事会(5月・2月)、総会(6月・2月)は「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を考慮して、リモート形式(Zoom・電話会議)を併用し、ほぼコロナ禍前の通常形式で開催した。

「本部研修会 in 熱海」は、3回すべて開催。参加者合計は276名で、コロナ禍前(2019年)の75%まで回復した。総支部指導者養成所研修会・地方特別研修会も続々と再開された。

総会に積極的に参加して頂いた正会員の皆様、5月以降も万全の感染予防対策にご協力いただいた会場ホテル・講師・受講生・本部職員に深く感謝申し上げます。

3. 私たちの務め

5 類移行を契機に、コロナ禍前水準（2019 年）への回復が様々な分野で期待されている。私たちも今一度、公益社団法人としての事業目的を思い起こし、自彊術普及への更なる高みへ進みたいと考える。

「自彊術は（中略）自らの心身の健全性を維持増進せしめるのみならず、更にその普及活動を通じて、多くの人々の心身の健全な発達に寄与し、健康で豊かな社会の形成に大きな貢献をしているものと自負しております。」（「設立趣意書」より抜粋）

会 員	令和5年3月末	令和6年3月末	増 減
正 会 員	5 9 8	5 7 8	- 2 0
賛 助 会 員	4 5, 6 3 7	4 5, 2 2 5	- 4 1 2
合 計	4 6, 2 3 5	4 5, 8 0 3	- 4 3 2

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

- ① 感染拡大に伴う会場閉鎖や安全への配慮からの自粛を余儀なくされ、活動は制約を受けたが、5月の5類移行後は講習会実施の努力がなされた。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 R4 年下期 (確定値)	61	250	2,650	583	741	390	4,675
R5 年度増減 (※速報値)	-8	3	-21	1	-8	-12	-45
計	53	253	2,629	584	733	378	4,630

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

コロナ禍における生徒数減少、感染防止対応などのため、各カルチャーセンターも活動休止・中止あるいは教室縮小を余儀なくされた。一方で、5月以降は講師派遣の要請も複数寄せられている。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条）

■ 本部研修会

「準師範等研修会」に於ける検証・確認事項を、正会員をはじめとする現役指導者及び資格取得を目指す者に直接伝える研修を行う。安全かつ適切な指導を全国的に維持・確保する重要な研修会である。

① 「本部研修会 in 熱海」

第118回	令和5年4月21日～22日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者53名 シニア28名 計81名
第119回	令和5年6月16日～17日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者49名 シニア37名 計86名
第120回	令和5年10月27日～28日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者64名 シニア45名 計109名

② 「シニア本部研修会 in 熱海」（68歳以上の、指導者を目指す者を対象とする。）

第17回	4月、6月、10月の本部研修会 in 熱海と同日開催とした
------	-------------------------------

今年度は、シニア（第17回）と合同で3回すべて開催。回を重ねるごとに、参加者が増加した。

③ 「本部道場研修会」

東京を中心とする首都圏の会員を対象とし、年10回を1タームとする基準をもって実施する研修会である。10回すべて実施された。

■ 「総支部指導者養成所研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために、総支部に於いて年10回を1タームとする基準をもって実施された。

総支部名	実施会場	実施回数
東北総支部	福島市霞町 福島市市民会館	10
神奈川県総支部	本部道場	10
中部総支部	名古屋市 アイリス愛知	10
関西総支部	吹田市 さんくすホール	10
九州・中国総支部	福岡市 西国武道会館	10
九州・中国総支部	北九州市 菅原神社	10

■「地方特別研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施した。

令和5年度 地方特別研修会

番号	支部名	特研開催日				場 所	実行委員長	講師		
1	沖縄支部	4月15日	土	～	4月16日	日	ユインチホテル南城	野原文雄	善上陽子	
2	春日部・越谷・春日部北支部合同	4月25日	火	～	4月26日	水	本部道場	門倉久美子	富田節代	
3	石川県支部	5月13日	土	～	5月14日	日	石川県文教会館	木戸外茂子	久留恵子	
4	富士北麓支部	5月22日	月	～	5月23日	火	宝鏡寺空手道場	新田孝子	小島恵子	
5	川越・千葉県・千葉県柏・新宿朝日支部合同	5月23日	火	～	5月24日	水	本部道場	猪狩正子	小倉恵子	花輪とも絵
6	甲府支部	5月27日	土	～	5月28日	日	びゅあ総合	浦野まゆみ	白須清子	
7	大阪府支部	5月27日	土	～	5月28日	日	パナソニックリゾート大阪	綿田美美枝	鎌上恭子	大久保眞治子
8	千葉県成田支部	5月30日	火	～	5月31日	水	本部道場	長岡勝美	朝倉淑美	田中信子
9	大阪東支部	6月3日	土	～	6月4日	日	パナソニックリゾート大阪	久坂久代	加藤由美子	小栗加代子
10	福島・茨城県支部合同	6月4日	日	～	6月5日	月	福島市市民会館	高原恵子	佐藤美枝子	加納幸子
11	山形県・宮城県北支部合同	6月4日	日	～	6月5日	月	ヒルズサンピア山形	齋藤節子	松井陽子	結城献子
12	豊橋・静岡県・豊川支部合同	6月24日	土	～	6月25日	日	ロワジュールホテル豊橋	加藤由美子	小倉恵子	石田幸子
13	わかやま県・奈良県支部合同	6月24日	土	～	6月25日	日	パナソニックリゾート大阪	鳴尾桂子	久留恵子	結城献子
14	北海道支部	6月25日	日	～	6月26日	月	札幌市厚別区民センター	玉置百合子	鎌上恭子	
15	大宮支部	6月27日	火	～	6月28日	水	本部道場	佐藤美枝子	善上陽子	佐野典子
16	立川支部	6月30日	金	～	7月1日	土	プリヂェストン奥多摩園	江波戸光子	猪狩正子	
17	東京北支部	7月1日	土	～	7月2日	日	本部道場	堤恭子	富田節代	齋藤節子 加納幸子
18	横須賀・横須賀南支部合同	7月1日	土	～	7月2日	日	かながわ平和祈念館	三上博子	朝倉淑美	佐藤弘子
19	静岡葵支部	7月1日	土	～	7月2日	日	函南町平井公民館	松井陽子	白須清子	鳴尾桂子
20	兵庫県支部	7月1日	土	～	7月2日	日	ホテル北野プラザ六甲荘	四本多美子	高原恵子	鈴木玲子
21	熊谷・千葉県稲毛・練馬・むさし野・板橋支部合同	7月4日	火	～	7月5日	水	本部道場	志田由美子	門倉久美子	
22	横浜朝日・神奈川南・神奈川ふじさわ・湘南支部合同	7月8日	土	～	7月9日	日	かながわ平和祈念館	小倉恵子	江波戸光子	鷗早百合
23	立川朝日・春日部南・東松山・大宮南支部合同	7月18日	火	～	7月19日	水	本部道場	浦野まゆみ	松井陽子	小倉眞理子
24	小平支部	7月25日	火	～	7月26日	水	本部道場	長谷川美千代	三上博子	伊倉まゆみ
25	名古屋・名古屋中支部合同	7月29日	土	～	7月30日	日	アイリス愛知	服部八子	佐藤美枝子	安元由利子
26	九州・中国総支部合同	9月1日	金	～	9月2日	土	西国武道会館	宮本縫子	加藤由美子	石原久美子
27	横浜支部	9月5日	火	～	9月6日	水	本部道場	石野洋子	門倉久美子	志田由美子
28	京都府・滋賀県・京都洛中支部合同	9月23日	土	～	9月24日	日	ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター	朝倉淑美	三上博子	宮澤真己子

(2) **上級指導者研修会**（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条）

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を養うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① **準師範等研修会**（31 動・療法についての技術、指導法、その他、指導上の要点の検証及び確認をし、その結果を指導者養成所特別研修会における研修に反映させることにより、指導の全国的統一性、均質性を維持・確保することを目的とする。）

箱根湯本:令和5年11月12～13日 奥伝会と同日開催した。

② **奥伝研修会**

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

本部道場において令和5年4月11日、10月3日に開催した。

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本:令和5年11月12～13日に開催した。師範2名、準師範16名、奥伝53名

③ **支部長研修会**

本部道場において令和5年4月11日、10月3日に開催した。

(3) **資格・称号の授与**(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
初 伝	令和5年	4 月	89 名	
		7 月	87 名	
		10 月	61 名	
	令和6年	1 月	95 名	332 名
中 伝	令和5年	8 月	110 名	110 名
奥 伝	令和5年	6 月	4 名	4 名
準師範	令和5年	6 月	0 名	0 名
師 範	令和5年	6 月	0 名	0 名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初 伝	11	22	176	37	67	19	332
中 伝	0	11	56	11	26	6	110
奥 伝	0	0	4	0	0	0	4
準師範	0	0	0	0	0	0	0
師 範	0	0	0	0	0	0	0

公 2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術受講者を対象に毎年実施されていた健康度測定調査(体力測定)及びパルスオキシメーターによる自彊術実施前後の「血中酸素飽和度変化」の継続的調査は、感染を避けるため中止とした。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

(1) 機関紙「自彊の友」の発行

556,664部の発行となった。

令和5年度各号の主な記事は次の通りである。

「自彊術の先生になった友へのインタビュー」「我がクラスの自慢したい先輩」「各種体験談」等の定番記事に加えて、コロナ禍が収まり再開された本部や各支部の活動報告や「ちょっといい話」等々、多くの方々から記事をお寄せいただき、自彊術の普及啓発と会員相互の絆を深めることに役立てた。

4月号(566号)

- ・令和5年度予算総会報告
- ・带状疱疹とは？(理事 医学博士 関谷剛)
- ・令和4年度災害対応募金活動 お礼とご報告

5月号(567号)

- ・静岡葵支部だより
- ・初伝免状 令和5年4月1日附(89名)
- ・人生100年を生きる①(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

6月号(568号)

- ・コロナ禍での10周年(越谷支部)
- ・二十年継続の顕彰盾に感謝
- ・本部研修会 in 熱海
- ・人生100年を生きる②(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

7月号(569号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第13回通常総会報告
- ・公開講演会、懇親会にて
- ・人生100年を生きる③(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

8月号(570号)

- ・地方特別研修会(大阪府支部)
- ・初伝免状 令和5年7月1日附(87名)
- ・人生100年を生きる④(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

9月号(571号)

- ・総会&本部道場訪問の旅(兵庫県支部)
- ・中伝免状 令和5年8月15日附(110名)
- ・人生100年を生きる⑤(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

10月号(572号)

- ・富士北麓支部だより
- ・近藤芳朗記念館、本部道場訪問(岡山支部)
- ・人生100年を生きる⑥(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

11月号(573号)

- ・合同地方特別研修会(京都府・滋賀県・京都洛中支部)
- ・初伝免状 令和5年10月1日附(61名)
- ・人生100年を生きる⑦(同志社大学 客員教授 杉本八郎)

12月号(574号)

- ・設立30周年記念大会(千葉県成田支部)
- ・自彊術オンライン講座を開いてみて(石川県支部)
- ・人生100年を生きる⑧(同志社大学 客員教授 杉本八郎)
- ・～ちょっといい話～FMラジオ出演について(静岡葵支部)

1月号(575号)

- ・令和6年謹賀新年
- ・設立20周年記念大会(茨城県支部)
- ・令和5年度奥伝会開催
- ・健康寿命を延ばす生き方について①(理事 医学博士 関谷剛)
- ・～ちょっといい話～導引図に出会うことが出来て(横須賀南支部)

2月号(576号)

- ・設立20年を祝う会(神奈川ふじさわ支部)
- ・初伝免状 令和6年1月1日附(95名)
- ・健康寿命を延ばす生き方について②(理事 医学博士 関谷剛)

3月号(577号)

- ・設立40周年記念大会(小平支部)
- ・大阪箕面市近郊地域体験会(大阪府支部)
- ・健康寿命を延ばす生き方について③(理事 医学博士 関谷剛)

(2) 「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。14,109部の配布となった。

(3) 「自彊術の葉」の配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、入会に必要な事項が記載されている。4,640部の配布となった。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、ホームページのタイムリーな更新や、動画の掲出等更なる充実を図っている。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

会員の啓発及び一般の方々への自彊術啓発を目的として、6月14日通常総会後に実施。龍村仁監督作品「地球交響曲 一第九番一」を上映し好評を得た。

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

- ・40周年 小平支部
- ・30周年 千葉県成田支部
- ・20周年 茨城県支部 東京北支部(延期) 神奈川ふじさわ支部
- ・10周年 越谷支部

6. 海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

世界情勢に鑑み、指導者の派遣などの積極的な海外文化交流事業は下記(1)(2)を除き当分控えることとした。

(1) ワシントン教室

中伝が1名誕生し、本部研修会in熱海等の研修会参加のため2名が来日。

初講指導者を中心としたZoomでの勉強会を定期的実施、療法に基いた体操指導、米国における将来の普及体制について等の内容で意見交換を行っている。

(2) 台湾教室

月1回の講師派遣は当分見合わせるかたちとなったが、現地指導者による教室を実施している。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 189 名

III 【その他】

1. 会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1) **総会** ○決算総会 令和5年6月14日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題：令和4年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
任期满了に伴う役員選任
- 予算総会 令和6年2月28日 北とびあ (東京都北区)
議題：令和6年度事業計画の承認
令和6年度収支予算の承認
- (2) **理事会** ○決算理事会 令和5年5月17日 本部第二道場
議題：令和4年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
決算総会招集及び提出議案の決定
任期满了に伴う役員選任
- 臨時理事会 令和5年6月14日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題：代表理事、業務執行理事選任
- 予算理事会 令和6年2月7日 本部第二道場
議題：令和6年度事業計画の承認
令和6年度収支予算の承認
予算総会招集及び提出議案の決定
- (3) **支部主催会議** 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2. 見舞金・義援金募金活動の実施

令和5年度「災害対応拠出口座」には、全国の会員の皆様から例年の5倍を上回る総額約740万円のご厚志が寄せられた。心より感謝とお礼を申し上げます。

今年度は、「数十年に一度といった規模」の豪雨(線状降水帯・台風)や豪雪による災害が全国で起こり、地震も各地で頻発するなど、地球規模での温暖化の影響が強く懸念された一年であった。

とりわけ、今年1月1日に起こった「令和6年能登半島地震」は日本中に衝撃を与えた。大規模な海岸線の隆起・半島地形特有の被災地の孤立化・家屋の倒壊・津波被害・火災の発生・断水の長期化等々、迅速な復旧復興や防災のあり方に関して、様々な課題が浮き彫りになった。

執行理事会では、今回の募金を能登半島地震の義援金とすることを決定。支援先は、被災した能登半島全域の石川・富山・新潟・福井の各県を支援対象としてカバーしている日本赤十字社(約430万円)と、特に被害の甚大な輪島市・珠洲市(各100万円)とした。

3. マスコミに取り上げられた自彊術

福島支部

- ・伊達市広報誌
- ・福島市西学習センター地区だより（2023年9月1日発行）
「西自彊術クラブ」と地元中学生とのふれあいの紹介
- ・アオウセ通信

茨城県支部

- ・日立ケーブルテレビ JWAY(2023年10月30日ほか放送)
支部設立20周年記念大会の取材

宮城県支部

- ・石巻かほく（2023年10月5日発行）
「石巻地区合同交流会」の参加呼びかけ

東京北支部

- ・松戸市医師会報（2024年1月号）
「私にとって、宝物としての自彊術」

板橋支部

- ・致知（人間学を学ぶ月刊誌）「読者の集い」欄（2023年5月号）
所沢木鶏クラブの紹介

富士北麓支部

- ・テレビ山梨 「スゴろく」（2024年3月25日放送）
自彊術教室の紹介

神奈川南支部

- ・タウンニュース鎌倉版（2023年11月3日）
無料体験会の紹介

静岡葵支部

- ・伊豆日日新聞 「趣味のとき」コーナー（2023年5月17日、7月12日）
自彊術教室の紹介(函南・伊東)
- ・エフエムみしま・かなみ「シン・今昔ちゃんねるW」（2023年9月1日放送）
自彊術の紹介

兵庫県支部

- ・FMゲンキ 「解決なんでも困り事相談」（2024年1月28日放送）

滋賀県支部

- ・びわ湖放送 「金曜オモロしが」 (2023 年 5 月 5 日放映)

岡山支部

- ・ N P O 法人健康を考えるつどい機関誌「健康へのトビラ」 (2023 年 5 月 1 日発行)
健康インタビュー
- ・ 円座校区コミュニティー協議会広報部「ふれあいえんご」 (2023 年 12 月 25 日発行)

令和 5 年度事業報告 附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 3 項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 6 年 5 月 15 日
公益社団法人 自彊術普及会

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（報告）

「当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に事前に政府に届出を行うことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しません。」旨の報告を、内閣官房内閣人事局内閣参事官（退職管理担当）宛に致しました。

平成 30 年 10 月 22 日
公益社団法人 自彊術普及会

令和5年度 決算報告書

令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	182,725,184	169,105,604	13,619,580
未収金	505,823	600,421	-94,598
前払費用	868,188	1,008,269	-140,081
流動資産合計	184,099,195	170,714,294	13,384,901
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	25,000,000	0
減価償却引当資産	57,000,000	57,000,000	0
新自彊術会館建設積立資産	206,000,000	204,000,000	2,000,000
特定資産合計	288,000,000	286,000,000	2,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	17,097,820	17,097,820	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	10,955,767	10,955,767	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-175,107,598	-166,386,836	-8,720,762
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	6,600,000	0
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	481,092,245	489,813,007	-8,720,762
固定資産合計	799,197,245	805,918,007	-6,720,762
資産合計	983,296,440	976,632,301	6,664,139

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,360,315	3,178,101	1,182,214
前受会費	42,188,500	41,770,500	418,000
預り金	1,872,994	718,099	1,154,895
流動負債合計	48,421,809	45,666,700	2,755,109
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	30,913,500	29,215,500	1,698,000
退職給付引当金	3,563,660	2,757,814	805,846
固定負債合計	34,477,160	31,973,314	2,503,846
負債合計	82,898,969	77,640,014	5,258,955
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	870,397,471	868,992,287	1,405,184
一般正味財産合計	870,397,471	868,992,287	1,405,184
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(263,000,000)	(261,000,000)	(2,000,000)
正味財産合計	900,397,471	898,992,287	1,405,184
負債及び正味財産合計	983,296,440	976,632,301	6,664,139

令和5年度 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
② 特定資産運用益	5,524	5,618	-94
③ 受取会費	142,541,000	144,327,000	-1,786,000
正会員受取会費	5,980,000	6,190,000	-210,000
賛助会員受取会費	136,561,000	138,137,000	-1,576,000
④ 事業収益	71,982,419	61,031,825	10,950,594
講習会等実施事業収益	9,110,919	8,998,325	112,594
指導者養成事業収益	53,329,000	42,573,500	10,755,500
資格等授与事業収益	9,542,500	9,460,000	82,500
⑤ 受取寄付金	530,235	300,000	230,235
受取寄付金	530,235	300,000	230,235
⑥ 雑収益	6,863,746	8,245	6,855,501
総会・懇親会会費	6,699,000	0	6,699,000
受取利息	221	245	-24
その他雑収益	164,525	8,000	156,525
経常収益計	222,042,924	205,792,688	16,250,236
(2) 経常費用			
① 事業費	186,292,665	184,141,083	2,151,582
役員報酬	24,541,680	24,541,680	0
給料手当	24,372,976	23,348,443	1,024,533
臨時雇賃金	3,282,976	3,441,275	-158,299
報酬謝金	23,699,500	22,456,900	1,242,600
役員退職慰労引当金繰入額	1,227,084	1,227,084	0
退職給付費用	693,849	159,981	533,868
退職給付金	350,000	300,000	50,000
法定福利費	2,898,036	2,881,846	16,190
会議費	6,957,460	4,796,838	2,160,622
会場費	945,733	257,429	688,304
研修会場費	12,674,360	10,718,430	1,955,930
旅費交通費	14,115,009	12,851,449	1,263,560
通勤費	528,929	0	528,929
通信運搬費	9,192,988	9,505,493	-312,505
減価償却費	7,960,964	7,860,994	99,970
消耗品費	4,472,050	12,437,424	-7,965,374
修繕費	1,028,445	997,700	30,745
印刷製本費	10,967,985	11,438,906	-470,921
渉外費	252,380	519,139	-266,759
光熱水料費	1,402,883	1,583,360	-180,477
リース料	431,957	431,957	0
保険料	364,056	367,124	-3,068
諸謝金	1,572,821	693,959	878,862
租税公課	5,015,260	4,134,840	880,420
インターネット費	31,152	37,708	-6,556
支払手数料	338,642	365,701	-27,059

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	3,547,900	3,472,000	75,900
事務委託費	21,492,800	21,623,100	-130,300
雑費	1,932,790	1,690,323	242,467
② 管理費	34,345,075	27,512,239	6,832,836
役員報酬	10,198,320	9,938,320	260,000
給料手当	2,479,802	3,009,292	-529,490
役員退職慰労引当金繰入額	470,916	470,916	0
退職給付費用	111,997	55,117	56,880
退職給付金	100,000	0	100,000
法定福利費	1,338,198	1,449,055	-110,857
福利厚生費	600,839	377,506	223,333
会議費	7,089,987	413,079	6,676,908
会場費	1,421,278	1,345,860	75,418
旅費交通費	1,594,903	1,394,566	200,337
通勤費	105,511	614,400	-508,889
通信運搬費	1,080,282	1,069,784	10,498
減価償却費	759,798	759,798	0
什器備品費	0	103,680	-103,680
消耗品費	238,900	339,572	-100,672
修繕費	0	167,420	-167,420
印刷製本費	603,400	331,768	271,632
渉外費	278,479	312,184	-33,705
光熱水料費	437,765	527,508	-89,743
リース料	91,627	91,627	0
保険料	23,535	24,680	-1,145
諸謝金	530,072	87,660	442,412
租税公課	805,902	673,620	132,282
支払寄付金	2,000	2,000	0
支払手数料	90,017	92,102	-2,085
委託費	2,896,267	2,890,800	5,467
雑費	995,280	969,925	25,355
経常費用計	220,637,740	211,653,322	8,984,418
当期経常増減額	1,405,184	-5,860,634	7,265,818
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,405,184	-5,860,634	7,265,818
一般正味財産期首残高	868,992,287	874,852,921	-5,860,634
一般正味財産期末残高	870,397,471	868,992,287	1,405,184
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	900,397,471	898,992,287	1,405,184

令和5年度 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	5,524	5,524	0	5,524
③受取会費	0	0	71,270,500	71,270,500	71,270,500	142,541,000
正会員受取会費	0	0	2,990,000	2,990,000	2,990,000	5,980,000
賛助会員受取会費	0	0	68,280,500	68,280,500	68,280,500	136,561,000
④事業収益	71,982,419	0	0	71,982,419	0	71,982,419
講習会等実施事業収益	9,110,919	0	0	9,110,919	0	9,110,919
指導者養成事業収益	53,329,000	0	0	53,329,000	0	53,329,000
資格等授与事業収益	9,542,500	0	0	9,542,500	0	9,542,500
⑤受取寄付金	0	0	530,235	530,235	0	530,235
受取寄付金	0	0	530,235	530,235	0	530,235
⑥雑収益	20,150	144,375	221	164,746	6,699,000	6,863,746
総会・懇親会会費	0	0	0	0	6,699,000	6,699,000
受取利息	0	0	221	221	0	221
雑収益	20,150	144,375	0	164,525	0	164,525
経常収益計	72,002,569	144,375	71,926,480	144,073,424	77,969,500	222,042,924
(2) 経常費用						
①事業費	127,098,898	59,193,767	0	186,292,665	0	186,292,665
役員報酬	17,672,520	6,869,160		24,541,680		24,541,680
給料手当	19,913,765	4,459,211		24,372,976		24,372,976
臨時雇賃金	3,282,976	0		3,282,976		3,282,976
報酬謝金	23,699,500	0		23,699,500		23,699,500
役員退職慰労引当金繰入額	883,626	343,458		1,227,084		1,227,084
退職給付費用	597,851	95,998		693,849		693,849
退職給付金	350,000	0		350,000		350,000
法定福利費	2,243,085	654,951		2,898,036		2,898,036
会議費	6,214,254	743,206		6,957,460		6,957,460
会場費	0	945,733		945,733		945,733
研修会場費	12,674,360	0		12,674,360		12,674,360
旅費交通費	13,814,753	300,256		14,115,009		14,115,009
通勤費	416,101	112,828		528,929		528,929
通信運搬費	2,583,111	6,609,877		9,192,988		9,192,988
減価償却費	6,787,552	1,173,412		7,960,964		7,960,964
消耗品費	2,702,511	1,769,539		4,472,050		4,472,050
修繕費	1,028,445	0		1,028,445		1,028,445
印刷製本費	568,585	10,399,400		10,967,985		10,967,985
渉外費	237,235	15,145		252,380		252,380
光熱水料費	1,215,270	187,613		1,402,883		1,402,883

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
リース料	296,349	135,608		431,957		431,957
保険料	318,371	45,685		364,056		364,056
諸謝金	26,000	1,546,821		1,572,821		1,572,821
租税公課	3,803,837	1,211,423		5,015,260		5,015,260
インターネット費	0	31,152		31,152		31,152
支払手数料	327,851	10,791		338,642		338,642
委託費	2,864,800	683,100		3,547,900		3,547,900
事務委託費	881,000	20,611,800		21,492,800		21,492,800
雑費	1,695,190	237,600		1,932,790		1,932,790
②管理費	0	0	0	0	34,345,075	34,345,075
役員報酬					10,198,320	10,198,320
給料手当					2,479,802	2,479,802
役員退職慰労引当金繰入額					470,916	470,916
退職給付費用					111,997	111,997
退職給付金					100,000	100,000
法定福利費					1,338,198	1,338,198
福利厚生費					600,839	600,839
会議費					7,089,987	7,089,987
会場費					1,421,278	1,421,278
旅費交通費					1,594,903	1,594,903
通勤費					105,511	105,511
通信運搬費					1,080,282	1,080,282
減価償却費					759,798	759,798
消耗品費					238,900	238,900
印刷製本費					603,400	603,400
渉外費					278,479	278,479
光熱水料費					437,765	437,765
リース料					91,627	91,627
保険料					23,535	23,535
諸謝金					530,072	530,072
租税公課					805,902	805,902
支払寄付金					2,000	2,000
支払手数料					90,017	90,017
委託費					2,896,267	2,896,267
雑費					995,280	995,280
経常費用計	127,098,898	59,193,767	0	186,292,665	34,345,075	220,637,740
当期経常増減額	-55,096,329	-59,049,392	71,926,480	-42,219,241	43,624,425	1,405,184
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-55,096,329	-59,049,392	71,926,480	-42,219,241	43,624,425	1,405,184

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
他会計振替額	0	0	42,219,241	42,219,241	-42,219,241	0
当期一般正味財産増減額	-55,096,329	-59,049,392	114,145,721	0	1,405,184	1,405,184
一般正味財産期首残高				509,375,617	359,616,670	868,992,287
一般正味財産期末残高				509,375,617	361,021,854	870,397,471
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	361,021,854	900,397,471

令和5年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。

什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 退職給付引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	0	0	25,000,000
減価償却引当資産	57,000,000	0	0	57,000,000
新自彊術会館建設積立資産	204,000,000	2,000,000	0	206,000,000
小計	286,000,000	2,000,000	0	288,000,000
合 計	316,105,000	2,000,000	0	318,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	57,000,000	(-)	(57,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	206,000,000	(-)	(206,000,000)	(-)
小計	288,000,000	(-)	(263,000,000)	(25,000,000)
合 計	318,105,000	(30,000,000)	(263,105,000)	(25,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	146,394,637	204,314,855
建物附属設備	17,097,820	14,131,393	2,966,427
構築物	1,053,982	960,167	93,815
什器備品	10,955,767	9,236,106	1,719,661
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	2,420,000	4,180,000
合 計	388,382,356	175,107,598	213,274,758

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	30,123,000	18,000
合 計	30,105,000	30,123,000	18,000

6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

7 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	29,215,500	1,698,000	0	0	30,913,500
退職給付引当金	2,757,814	805,846	0	0	3,563,660

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	259,375
		・手元保管(各支部・55口)	運転資金として	5,747,794
		＜現金計＞		6,007,169
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	14,213,682
		・三菱UFJ銀行駒込支店	運転資金として	759,993
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	313,378
		・ゆうちょ銀行支部口座(55口)	運転資金として	111,134,004
		＜普通預金計＞		126,421,057
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (26471)	49,205,695
	・ゆうちょ銀行中里郵便局	災害支援金口座として (417841)	1,091,263	
＜振替預金計＞		50,296,958		
未収金	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	505,823	
	前払費用	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	868,188
		＜その他計＞	1,374,011	
流動資産合計				184,099,195
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000
		＜基本財産計＞		30,105,000
特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
		・普通預金 三菱UFJ銀行駒込支店	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000
	減価償却引当資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	57,000,000
		新自彊術会館建設積立資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	資産取得資金であり、新自彊術会館建設目的のために積立られた資産
			＜特定資産計＞	288,000,000
その他固定資産	建物	・会館 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	30,230,399
	建物	・本部道場 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	117,797,226
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	8,768,921
	建物	・第二道場 北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	36,985,101
	建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は31%:69%である。	4,669,195
	建物(補修工事)	・本部道場の外部補修工事 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	5,864,013
	＜建物計＞		204,314,855	
	建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降 設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	2
		・本部道場・会館の看板交換 工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	2
・第二道場の電気・ガス・ 給排水・冷暖房等設備工事		公益目的事業の用に100%供している。	451,889	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	構築物	・会館2F設備・電気・照明工事	管理業務の用に100%供している。	937,538
		・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	80,093
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	499,851
		・本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	118,742
		・本部道場空調機オーバーホール追加工	公益目的事業の用に100%供している。	878,310
	構築物		<建物附属設備計>	2,966,427
		・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業の用に100%供している。	93,815
	什器備品		<構築物計>	93,815
		・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	11,412
		・コンピューターサーバー	公益目的事業の用に100%供している。	333,809
		・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	24,431
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	2
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	2
		・AED 2台	公益目的事業の用に100%供している。	1
			<什器備品計>	1,719,661
	土地	・95.70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187
	土地	・131.23㎡(本部道場)	公益目的事業の用に100%供している。	109,410,000
	土地	・116.68㎡(第二道場)	公益目的事業の用に100%供している。	91,861,500
		北区中里二丁目14-3		
			<土地計>	267,724,687
	商標権	・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に100%供している。	0
	ソフトウェア	・教場管理システム	公益目的事業の用に100%供している。	4,180,000
	電話加入権	・電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
			<その他計>	4,272,800
固定資産合計				799,197,245
資産合計				983,296,440
(流動負債)	未払金	・アーク印刷	月刊機関紙印刷代等の未払額	2,060,032
		・郵便事業	3月分後納郵便代	53,892
		・北社会保険事務所	3月分厚生年金保険料他	301,060
		・本部カルチャー講師	3月分講師料	787,704
		・研修会講師	3月分講師料	484,456
		・2月分社会保険料	4/1口座引落分	597,496
		・2月分電話代	4/1口座引落分	75,675
			<未払金>	4,360,315
	前受会費	・賛助会費	令和6年度賛助会費の前受会費	32,068,500
		・研修会費	令和6年度本部研修会in熱海の研修会費	3,234,000
		・研修会費	令和6年度本部道場研修会費	6,886,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・王子税務署 ・ 〃 ・豊島区役所他 ・雇用保険料 ・災害支援金	＜前受会費＞ 3月分 給与分源泉所得税 409,430 3月分 204条源泉所得税 12,252 3月分 住民税 241,500 118,549 1,091,263 ＜預り金＞	42,188,500 1,872,994
流動負債合計				48,421,809
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金	30,913,500
			＜役員退職慰労引当金＞	30,913,500
	退職給付引当金	・退職給付引当金	職員退職金の引当金	3,563,660
			＜退職給付引当金＞	3,563,660
固定負債合計				34,477,160
負債合計				82,898,969
正味財産				900,397,471

監査報告書

令和 6 年 5 月 9 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 平野 晶己



監 事 小西 康雄



私たちは、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの令和 5 年度における会計および業務の 監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上